



地域で取り組む干潟環境の保全

蒲郡市漁業環境保全協議会

地域の特性

蒲郡地域は三河湾の西部に位置する地域である。本地域には三谷漁協と蒲郡漁協の2つの漁協があり、蒲郡漁協には竹島、形原、西浦の3つの支所がある。これらの地区はそれぞれ干潟を有し、潮干狩りなどアサリの観光漁業を行っている。このうち、竹島地区は天然の干潟を有し、採貝漁業を中心に蒲郡市全体のアサリ漁獲量の8割程度を漁獲していることに加え、アサリの観光漁業における動員数は令和元年の現在で3万人以上と多く、蒲郡地域のアサリ生産の中核を担ってきた。

一方、形原地区と西浦地区の干潟は2000年初頭の中山水道航路の工事に際して発生した浚渫土砂を利用し造成された人工干潟であり、アサリ漁獲量では2地区を合計しても蒲郡地域全体の1～2割程度にとどまる。



干潟等の保全活動



蒲郡市漁業環境保全協議会の活動について

設立：平成25年

体制：現在の会員942名（漁業者848名、漁業者以外94名）

目的：地域資源（干潟）の維持・回復

活動内容の一覧（H25～H30）

活動内容	2013	2014	2015	2016	2017	2018
モニタリング	○	○	○	○	○	○
機能低下を招く生物の除去（腹足類）	○	○	○	○	○	○
干潟の耕うん	-	○	○	-	○	○
浮遊堆積物の除去（計画のみ）	-	-	-	-	-	-
稚貝等の沈着促進	-	-	○	-	-	-
砂泥の移動防止（樹脂ポール）	○	○	-	-	-	-
砂泥の移動防止（敷網）	-	-	-	-	-	○
海と干潟における環境教育活動	-	○	○	○	○	○

干潟等の保全効果について

天然干潟(21ha)が存在する竹島地区において、砂泥移動防止として敷網（2か所）、縦網（8か所）を設置し、アサリの飛散や砂面の移動防止対策を行った。このうち敷網無しの10地点(st1～10)と敷網有りの2地点(1,2)でアサリ個体数、湿重量を計測するモニタリング調査を行った。

敷網有・無により個体数を比較すると、2018年の11月～1月の期間では、全ての地点で大きな減少が確認されたが、2019年の1月～3月の期間では、敷網無しの全地点では個体数が大きく減少しているのに対し、敷網有りの2地点では僅かに減少したのみにとどまった。

敷網有りの地点(1,2)と無しの地点(st1～10)の調査別でのアサリの平均個体数と平均湿重量の計測結果をみると、敷網を設置した地点では3月調査時にアサリ個体数の減少が抑制されており、アサリの流出が抑えられる効果が認められた。さらに3月調査時に平均湿重量が増大していることから、アサリ個体の成長にも効果があることを確認できた。

これにより、敷網の設置によるアサリの流出防止効果と成長促進効果が確認できた。

アサリの平均個体数と平均質重量（敷網有り・無し）の比較

地点	調査項目	平均個体数			平均湿重量(g)		
		2018/11/12	2019/1/4	2019/3/4	2018/11/12	2019/1/4	2019/3/4
敷網無(st.1～10)	平均個体数	8,083	1,840	917	5,562	3,914	2,370
	平均湿重量	5,330	2,550	2,515	6,848	4,984	6,245
敷網有(1～2)	平均個体数	5,330	2,550	2,515	6,848	4,984	6,245



活動位置図

アサリの平均個体数と平均質重量（敷網有り・無し）の推移